

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.101 (2024.8.27)

令和6年度スローガン
過去最高業績への挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

ドイツにおける省エネ基準（GEG）は主に3種類あり、一次エネルギー需要、躯体の性能、夏季遮熱性能となります。そのうち改修の対象となるのは一次エネルギー需要（建物全体を改修する場合）と躯体の性能の2種類となります。一次エネルギー需要においては非住宅が照明を含むのに対し住宅では対象となっておりません。家電による消費電力などが含まれていないのは躯体の性能と関連性がないということが根拠になっています。一次エネルギーと同様に新築のU値基準は表の数値をもとに仮想基準建築物の平均U値を求め、設計案件の平均U値と比較します。また計算時にはヒートブリッジによる影響が配慮され、改修時には個々の数値が基準となります。

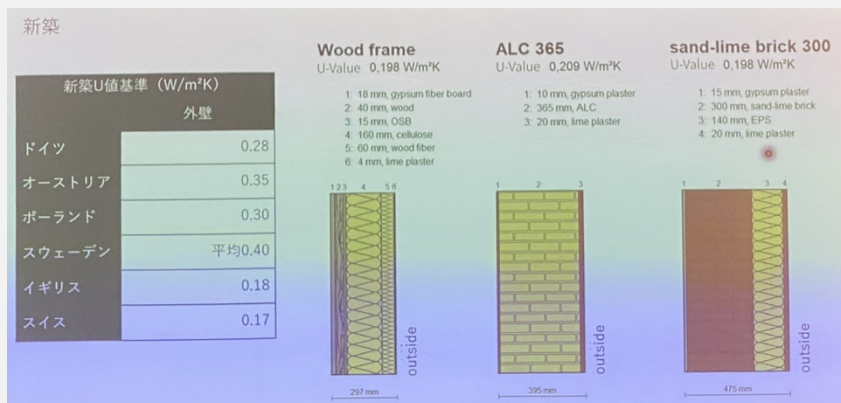
右の写真はEPS板を既存住宅の外壁に樹脂モルタルで接着している様子です。この住宅は築50年以上のブリック造でしたが、建具を高性能のものに交換した後に断熱材を貼付、ドリルで下穴を開けた後、右下のアンカーを挿入して一体化するという工法でした。仕上げは塗装で行われるものと思われます。

部位	新築U値	改修	補助金基準
外壁	0.28 W/(m²K)	0.24 W/(m²K)	0.20 W/(m²K)
床、暖房のかからない空間に接する壁部、天井	0.35 W/(m²K)	0.30 W/(m²K)	0.25 W/(m²K)
屋根、最上階の天井	0.20 W/(m²K)	0.24 W/(m²K)	0.14 W/(m²K)
窓	1.3 W/(m²K)	1.3 W/(m²K)	0.95 W/(m²K)
天窗	1.4 W/(m²K)	1.4 W/(m²K)	1.0 W/(m²K)
玄関ドア	1.8 W/(m²K)	1.8 W/(m²K)	1.3 W/(m²K)



左図はヨーロッパにおける新築時の外壁U値の基準値

で、0.17～0.3となっていますが、傾向的には0.15～0.2前半へと強化されているとの事でした。灰砂レンガ造が多いヨーロッパにおいては入（熱貫流率）0.032のEPS板を使用しても壁厚が475mmとなってしまうため、厚みを抑えら



れる素材に注目が集まっているとの事でした。次回はドイツの建築業界事情を紹介します。

建設業体験フェスタ



7/22
から5
日間
にわたり

今年も開催されました。受講者は昨年から大幅に増え33名となりました。小型車両系建設機械運転資格取得、成瀬ダム・稲庭バイパスの現場見学、型枠・鉄筋・防水・塗装・左官・電気の6工種の職人体験と盛りだくさん、一人でも多くの高校生に入職して頂きたいと思ひます。

第9回山の日ゴルフコンペ



第9回和賀組山の日ゴルフコンペが8/10に開催され

ました。10組39名(1名11日と勘違いして欠席)で酷暑の中で行われ、(株)タカセの安倍取締役が2度目の優勝に輝きました。来年は8月11日に開催しますので奮って参加ください。



日鉄パイプ&エンジニアリング

小安地株株式会社为建设中のかたつむり山発電所建设工事に、当社は飛鳥建设様の下請けとして基础工事を担当しておりますが、この度主任技術者の後藤純課長代理が元請の日鉄PL&エンジニアリング様より安全活動表彰を頂きました。

